

## 最終評価対象となったムーンショット目標候補案

目標候補案名	ミレニア・プログラムにおいて 当該目標候補案の設定に貢献したチーム
2050年までに、台風や豪雨を制御し極端風水害の脅威から解放された豊かな社会を実現	<p>●タイフーンショット (チームリーダー：筆保 弘徳 (横浜国立大学 教育学部 教授))</p> <p>●気象制御可能性検討チーム (チームリーダー：三好 建正 (理化学研究所 計算科学研究センター チームリーダー))</p>
2050年までに、未知なるこころの無限の可能性を開拓することにより、より平和で躍動的なグローバル世界を実現	<p>●Psyche Navigation Systemによる安寧・活力共存社会実現チーム (チームリーダー：熊谷 誠慈 (京都大学 こころの未来研究センター 准教授))</p> <p>●サイバー空間の次世代コミュニケーションインフラ構築による世界の中で誰も孤独を感じないウルトラダイバーシティ社会の実現 (チームリーダー：岡田 志麻 (立命館大学 理工学部 准教授))</p> <p>●西本 MS 音楽感動共創プロジェクト (チームリーダー：西本 智実 (指揮者・舞台演出／慶應義塾大学 SFC 研究所 上席所員))</p> <p>協力：秋山 肇 (「チーム ポスト・アントロポセン」 チームリーダー、筑波大学 人文社会系 助教)</p>
2050年までに、生態系と支え合うことで発展する自然共生社会を実現	<p>●生態-社会システム共生体化 (チームリーダー：近藤 倫生 (東北大学 大学院生命科学研究科 教授))</p>
2050年までに、誰もが好きな場所で好きな暮らしをおくれる柔軟な「場」を実現	<p>●Flex インフラを考える会 (チームリーダー：今西 美音子 (株式会社竹中工務店 技術研究所 研究員))</p> <p>協力：佐久間 洋司 (「科学技術による「人類の調和」検討チーム」 チームリーダー、東京大学 大学院総合文化研究科 修士課程学生／大阪大学 グローバルイニシアティブ機構 招へい研究員)</p>

<p>2050年までに、誰もが多様な自己実現を追求できる豊かで公平な社会を実現</p>	<p>●イネーブリング・シティ  (チームリーダー：武部 貴則(横浜市立大学 先端医科学研究センター コミュニケーション・デザイン・センター センター長／特別教授))</p> <p>協力：佐久間 洋司(「科学技術による「人類の調和」検討チーム」チームリーダー、東京大学 大学院総合文化研究科 修士課程学生／大阪大学 グローバルイニシアティブ機構 招へい研究員)</p>
---	--

※最終評価の結果、決定された優先順位に従って目標候補案を記載しています。目標候補案名は最終評価に当たっての再検討後の名称であり、2021年7月に実施した調査研究報告会時の名称、また決定されたムーンショット目標の名称とは異なります。